

学部横断型ゼミナール・プロジェクト 最終報告会 7/9(土)開催 —企業のCSR 報告書を作成・発表—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、2022年度春学期「学部横断型課題解決プロジェクト」（通称：学部横断型ゼミナール・プロジェクト）の最終報告会を7月9日（土）に開催いたします。2008年度に正規科目となってから、15年目を迎える今年度は春学期・秋学期ともに1クラスずつ開講しており、今年度春学期は、2～3年次生24名が履修しています。最終報告会では履修生が実際に作成した＜CSR報告書＞を企業の方や視聴者に提示し、報告書の構成に沿って内容について発表します。

最終報告会は、本学会場およびオンライン配信のハイブリッド方式で開催しますが、高校生や一般の方は、オンラインからの視聴のみ（要事前申し込み）に限らせていただきますので、ご了承ください。

学部横断型ゼミナール・プロジェクト最終報告会の概要

異なる学部の学生が一つのチームを作り、企業の協力を得て学部の専門性を生かしながら調査・分析し、企業の『CSR報告書』作成という課題解決に取り組みます。今回は[愛知産業株式会社](#)、[キハラ株式会社](#)の2社にご協力をいただきました。最終報告会では、企業担当者や一般の聴講者に実際に制作した＜CSR報告書＞について、どんなプロセスで、どんな議論と調査を得て完成させたのかを発表します。是非、ご視聴ください。

日程

日時：2022年7月9日（土） 14：00～16：20 ※要事前申し込み（締切：7月8日（金）16時）

発表者：武蔵大学 学部横断型ゼミナール・プロジェクト履修生

担当教員：笠原一絵経済学部助教、杉浦正和人文学部特別招聘教授、永田浩三社会学部教授

内容

14時00分～14時05分 開会・来賓のご紹介

14時05分～14時20分 担当教員によるプロジェクトの概要説明

14時20分～14時25分 学内関係者挨拶

14時30分～15時15分 キハラ株式会社 担当チーム発表

15時15分～15時25分 休憩

15時25分～16時10分 愛知産業株式会社 担当チーム発表

16時10分～16時20分 全体の講評

*各チームの発表時間は30分、質疑応答・学生からのコメントが15分となります。

*進行によっては、多少時間が前後する場合がございますので、ご了承ください。

聴講お申し込み

申込先：gp@mml.sec.musashi.ac.jp

武蔵大学 学部横断型課題解決プロジェクト運営チーム 宛

件名：7月9日最終報告会参加申し込み

本文：①所属・職名（学年） ②氏名（ふりがな） ③連絡先 e-mail を明記の上、お申し込みください。

お申し込みに関する詳細は[こちら](#)



2021年度前期最終報告会の様子



2021年度の履修生が作成した『CSR報告書』

2022年4月17日、武蔵学園は創立100周年を迎えました



■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 德行

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1